

静岡大学農学部と「Nature Positive」を軸とした農学教育を目指すため、産学連携協定を締結しました

このたび、株式会社ノダと静岡大学農学部（所在地：静岡県静岡市）は「Nature Positive（自然再生）」をテーマとする農学教育の推進を目的に産学連携協定を締結しました。2025 年度より「未来をつくる学び」に取り組んでまいります。

この取り組みは、農学分野の学びの中心にある、環境科学・生物資源・地域創生を担う人材育成を目的とし、産学連携による実践的な学びを通じて持続可能な社会の構築に貢献することを目指しています。

1. 中庭整備と連動した実践学習

農学総合棟南側中庭の整備事業を題材とし、建築素材の循環利用や自然共生型空間づくりについて、学生が現場で学ぶことのできる農学教育を展開します。本プロジェクトは、自然素材の可能性と空間設計における環境配慮を学ぶ貴重な実践機会となります。



2. 産学が共創する多様な学習機会

株式会社ノダがもつ木材加工やサステナブル建材の知見を活かし、座学に加えて工場見学やフィールドワーク、共同プロジェクト型の学習機会を提供します。学生たちは、素材の生産から利用、循環に至るプロセスを実践的に学び、自然と共生する社会のしくみを多角的に理解し、「未来をつくる学び」を身に付けていきます。



3. 今後の教育連携

- 2025 年 9 月 30 日：構想全体に関する基調講演・発表会開催
- 2025 年 10 月末 ：農学総合棟南側中庭整備完了
- 2025 年 10 月以降：工場見学、現地研修、プロダクト共創型 PBL（Project based learning）等開始

4. コメント

● 株式会社ノダ

私たちは、木を活かすものづくりを通じて、人と自然が共生する社会づくりに貢献したいと考えています。今回の連携を通じて、次世代の人材育成に積極的に関わってまいります。

● 静岡大学農学部

株式会社ノダとの連携により、農学教育に新たな実践フィールドが加わります。学生たちは自然素材の価値を学びながら、社会とつながる実践的な学びに取り組めます。